

附録 C WHO 治療ガイドライン用チェックリスト

作成された診療ガイドラインの適正をチェックする WHO の GWG チェックリストが以下の附表 C-1 である。パネルの構築, 利益相反, 作成過程の透明性などの評価項目が含まれている(第4章, 4.11「作成したガイドラインを実施・評価・更新する」, 126頁)。

附表 C-1

WHO より利用許可を得て転載⁵⁹⁾

WHO 治療ガイドライン用チェックリスト			
本チェックリストは次の目的のために使用する。 (1) WHO 治療ガイドラインの作成または更新のためのガイド。 (2) 出版についての最終承認を行う執行管理責任者および地域管理責任者が使用するチェックリスト。 出版および WHO の治療ガイドラインデータベースへの組み込みは, 11a を除く全 24 項目の基準の横にチェックマーク(チェックマークは「はい」を意味する) が記入されることにより, 許可される。			
	はい	質問	参照ポイント
		出版元	
1		ガイドラインを発行するクラスターや部門が明確か	序文
		目的, 対象オーディエンス	
2		ガイドラインの目的, すなわち患者カテゴリ, ガイドライン適用状況などが列挙されているか	序文
3		ガイドラインを使用する専門家グループの説明があるか	序文
		ガイドライン作成グループ	
4		ガイドライン作成グループには, 関係するすべての専門家グループ, 公衆衛生分野の専門家, エンドユーザー(ガイドラインが適用される地域に在住する人々を含む)が含まれているか	ガイドライン作成グループのメンバーのリスト
5		ガイドライン作成グループには, 検索手法, 批判的吟味, 費用効果分析などといった分野の方法論専門家が含まれているか	ガイドライン作成グループのメンバーのリスト
		利益相反	
6		すべての資金提供者の名称・氏名が明らかにされているか。利益相反はないか	資金提供者のリスト
7		ガイドライン作成グループや外部レビューの全メンバーによって利害の申告がなされているか。また, これらの利害がガイドライン文書に記録されているか	プロセスの文書化に関する付属文書
8		ガイドライン作成グループや外部レビューにおよぶ一切の不適切な影響を最小限にするための手法についての説明があるか	プロセスの文書化に関する付属文書

エビデンス		
9	系統的かつ包括的なエビデンス検索が行われているか。また、検索のための戦略がガイドラインに記録されているか	プロセスの文書化に関する付属文書
10	効果に関するエビデンスの強さや質が評価されているか	プロセスの文書化に関する付属文書、エビデンス一覧表
11a	全推奨事項のうち、エビデンスに基づいた推奨が占める割合はどの程度あるか（*）	推奨の概要
11b	エビデンスに基づいていない推奨事項については、「専門家の見解」であるという明確な表示がなされているか	推奨の概要
12	安全性、およびさまざまなセッティングでの誤用の可能性といったその他の問題点について明確な配慮がなされているか	プロセスの文書化に関する付属文書、エビデンス一覧表
13	費用効果の問題について明確な配慮がなされているか	プロセスの文書化に関する付属文書、エビデンス一覧表
14	推奨度がエビデンスと関連付けられているか	推奨の概要
15	推奨事項において、資源の制約の可能性が考慮されているか	実行上の課題。
レビュー		
16	外部ピアレビューによるコメントが十分に検討されているか	プロセスの文書化に関する付属文書
17	ガイドライン作成グループの全メンバーが最終文書を承認したか	プロセスの文書化に関する付属文書
18	最終文書が運営グループの全メンバーによって承認されたか	プロセスの文書化に関する付属文書
19	新たなエビデンスをレビューし、ガイドラインを更新するための計画が立てられているか	序文
提示, 明確さ		
20	推奨事項は明確に作成されているか	推奨の概要
21	ガイドラインには非効果的な慣行の指摘や忠告が提示されているか	推奨の概要
実行計画		
22	ガイドラインの配布や地域での応用のための計画が立てられているか	添付書類
23	ガイドラインの配布、および地域での応用のための資金があるか。	添付書類
24	対象とするセッティングでの使用を監視するための基準が提示されているか	実行上の課題
* これらの推奨事項は、専門家の見解以外の情報に基づくものである		